

発行日: 2018年08月28日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称:

製品名称: バイオハクリAQ

製品番号(SDS NO): 11362001-1

供給者情報詳細

供給者: 山一化学工業株式会社

住所: 東京都台東区上野3-24-6(上野フロンティアタワー15階)

担当部署: 生産本部那須工場技術部

電話番号: 03-3832-8121

FAX: 03-3835-3820

緊急連絡先電話: 0287-98-2780

2. 危険有害性の要約

製品のGHS分類、ラベル要素

GHS分類

健康に対する有害性

急性毒性(経口): 区分 4

急性毒性(吸入): 区分 4

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性: 区分 2

環境有害性

水生環境有害性(急性): 区分 3

水生環境有害性(長期間): 区分 3

GHSラベル要素



注意喚起語: 危険

危険有害性情報

飲み込むと有害

吸入すると有毒(気体、蒸気、粉じん及びミスト)

強い眼刺激

水生生物に有害

長期継続的影響により水生生物に有害

注意書き

安全対策

環境への放出を避けること。

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。

屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

保護眼鏡/保護面を着用すること。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

応急措置

特別な処置が必要である。

医師に連絡すること。

吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

- 眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けること。
- 口をすすぐこと。
- 飲み込んだ場合：気分が悪いときは医師に連絡すること。
- 貯蔵
 - 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
 - 施錠して保管すること。
- 廃棄
 - 内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

混合物/単一化学物質の選択：
混合物

成分名	含有量(%)	CAS No.	化審法番号
アルコール系高沸点溶剤	40-50	-	-
水	20-30	7732-18-5	-
エステル系高沸点溶剤	10-20	-	-
ナフタレン	<1	91-20-3	4-311

4. 応急措置

応急措置の記述

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

医師に対する特別な注意事項

特別な処置が必要である。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

粉末消火器、炭酸ガス、乾燥砂

消火を行う者への勧告

消火を行う者の保護

防火服や耐火服を着用する。

断熱手袋や保護眼鏡等を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

漏洩した場合、漏洩物を回収する。作業には適切な保護具を着用する。

二次災害の防止策

排水溝、下水溝、地下室、あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

すべての発火源を取り除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)

漏洩物を取り扱うとき用いる全ての設備は接地する。

関係者以外は近づけない。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。

安全取扱注意事項

屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。

保護眼鏡/保護面を着用すること。

換気のよい場所で使用する。

必要な保護具を着用する。

配合禁忌等、安全な保管条件

適切な保管条件

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

施錠して保管すること。

直射日光を避ける。

冷暗所にて保管

8. ばく露防止及び保護措置

管理指標

許容濃度

(ナフタレン)

ACGIH(2013) TWA: 10ppm (上気道刺激; 白内障; 溶血性貧血)

注釈(症状、摂取経路など)

(ナフタレン)

皮膚吸収

ばく露防止

保護具

呼吸用保護具

換気が十分でない場合は、呼吸用保護具を着用する。

手の保護具

保護手袋を着用する。

眼の保護具

保護眼鏡を着用する。

皮膚及び身体の保護具

保護手袋および保護衣を着用する。

顔面保護具を着用する。

衛生対策

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理的状态

形状：粘稠液体

色：緑色

物理的状态が変化する特定の温度/温度範囲

初留点/沸点： $\geq 100^{\circ}\text{C}$

比重/密度: 1.0(20°C計算値)

溶解度

水に対する溶解度：不溶

10. 安定性及び反応性

化学的安定性

予期される通常の保管および取り扱いの条件において安定と考えられる。

11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報

急性毒性

急性毒性(経口)

[日本公表根拠データ]

(アルコール系高沸点溶剤)

rat LD50=1230 mg/kg (PATTY 5th, 2001)

(ナフタレン)

rat LD50=490 - 1800 mg/kg (Patty 5th, 2001)

急性毒性(経皮)

[日本公表根拠データ]

(アルコール系高沸点溶剤)

rabbit LD50=2000 mg/kg (SIDS, 2008)

急性毒性(吸入)

[日本公表根拠データ]

(アルコール系高沸点溶剤)

vapor : rat LC50=8.9 mg/L (SIDS, 2008)

局所効果

眼に対する重篤な損傷・刺激性

[日本公表根拠データ]

(アルコール系高沸点溶剤)

ラビット (OECD TG 405) 中等度の刺激性 (SIDS, 2008)

(ナフタレン)

ラビット 7日以内に回復 (ATSDR, 2003)

感作性

皮膚感作性

[日本公表根拠データ]

(ナフタレン)

cat.1; human : DFGOT vol.11, 1998

発がん性

(ナフタレン)

IARC-Gr.2B : ヒトに対して発がん性があるかもしれない

(ナフタレン)

ACGIH-A3(2013) : 確認された動物発がん性因子であるが、ヒトとの関連は不明

(ナフタレン)

日本産衛学会-2B : 人におそらく発がん性があると判断できる証拠が比較的十分でない物質

(ナフタレン)

EU-発がん性カテゴリ2; ヒトに対する発がん性が疑われる物質

12. 環境影響情報

生態毒性

水生毒性

水生生物に有害

長期継続的影響により水生生物に有害

漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取扱いに注意する。特に、製品や洗浄

水が、地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

水生毒性(急性) 成分データ

[日本公表根拠データ]

(アルコール系高沸点溶剤)

魚類(ファットヘッドミノー) LC50=460 mg/L/96hr (SIDS, 2004)

(ナフタレン)

魚類(ニジマス) LC50 = 0.77mg/L/96hr (EHC 202, 1998)

水溶解度

(アルコール系高沸点溶剤)

4 g/100 ml (ICSC, 2000)

(ナフタレン)

溶けない (ICSC, 2005)

残留性・分解性

(ナフタレン)

BODによる分解度: 2% (既存点検)

生体蓄積性

(アルコール系高沸点溶剤)

log Pow=1.1 (ICSC, 2000)

(ナフタレン)

log Pow=3.3 (ICSC, 2005); BCF=168(Check & Review, Japan)

13. 廃棄上の注意

廃棄物の処理方法

環境への放出を避けること。

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

廃棄物は、許可を受けた、産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理をする。

容器、機器装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さない。

排水処理、焼却などにより発生した廃棄物についても、廃棄物の処理および清掃に関する法律および関係する法規に従って処理を行うか、委託をする。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

国連番号に該当しない

バルク輸送におけるMARPOL条約附属書II 改訂有害液体物質及びIBCコード

有害液体物質(X類)

ナフタレン

有害液体物質(Y類)

アルコール系高沸点溶剤

有害でない物質(OS類)

水

15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令

毒物及び劇物取締法に該当しない。

労働安全衛生法

有機溶剤等に該当しない製品

名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物

名称通知危険/有害物

ナフタレン

化学物質管理促進(PRTR)法に該当しない。

消防法に該当しない。

化審法

優先評価化学物質

ナフタレン

大気汚染防止法

有害大気汚染物質

ナフタレン

船舶安全法に該当しない。

航空法に該当しない。

16. その他の情報

参考文献

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, (5th ed., 2013), UN

Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 19th edit., 2015 UN

Classification, labelling and packaging of substances and mixtures (table3-1 ECNO6182012)

2016 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)

2018 TLVs and BEIs. (ACGIH)

<http://monographs.iarc.fr/ENG/Classification/index.php>

JIS Z 7253 (2012年)

JIS Z 7252 (2014年)

2017 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)

Supplier's data/information

化学品安全データ管理システム "GHS Assistant" 株式会社アサヒグラフィック

責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。